

《平成30年第2回定例会》 H30.6.8~6.25

建設環境委員会・学校施設老朽化対策特別委員会副委員長

一般質問



1.高齢者のごみ出し支援について

環境省が普及に乗り出した高齢者を対象にした地方自治体のごみ出し支援制度の府中市の支援について質問。本市のごみ量は、戸別収集がはじまって以来、分別や3Rの取り組みの周知など様々な啓発の結果、ごみ減量に大きな成果が得られています。今後はごみアプリを導入し、ごみへの関心の薄い若年層への啓発に取り組む予定です。そうした中で、高齢者へのごみ出し支援としては、粗大ごみの宅内収集や福祉シール制度があります。しかし、粗大ごみの宅内収集は対象者が限られていること、福祉シール制度はケアマネージャーの申請が必要なおもこの制度を利用されている方はあまり多くないことがわかりました。市としても高齢者のごみ出し支援は重要課題と捉えているので、福祉シールの周知と高齢者の見守りも兼ねた事業者や地域コミュニティを活用してのごみ出し支援の充実を要望しました。

2.窓口サービスの更なる向上を願って

総合窓口のサービス向上にむけて質問。窓口業務で要望の多い待ち時間の短縮については、受付までの待機人数がわかる混雑状況配信サービスが導入されているほか、今年は、繁忙期の混雑日の予想を公表しました。繁忙期は委託職員の増員を図るなどの対応はしているが、混雑時には待ち時間が2時間半に及ぶこともあることから、事務改善に努めるとの答弁がありました。マイナンバーカードの発行枚数に比例してコンビニ交付も増えているので、発行できる証明書を増やすなど市民の使いやすさを最優先に対応するよう要望しました。また、証明書発行の際の押印については、26市中10市は押印不要、16市は押印欄があるが、本市を含めて8市は本人確認できれば押印不要とのことでした。マイナンバーカードの普及により本人確認はより確実なものになり、利用者にとっても便利であるので押印不要で申請ができるように要望しました。

《学校のブロック塀調査》

◆平成30年6月18日に発生した大阪府北部地震で学校施設のコンクリートブロック塀が倒壊し、児童が亡くなるという事故が発生。この事故を受けて府中市でも一斉調査が行われました。

その結果、四谷小、日新小、南町小を含む9校に基準に不適合または劣化が確認されました。

府中市では、建築基準法には定めのない万年塀についても調査し、住吉小を含む6校に万年塀が使われていることを確認しました。

すでに撤去が始まっており、道路に面したブロック塀から順次撤去、フェンス等が設置されます。

◆通学路の点検については、7月2日から17日まで各学校で一斉点検を実施します。

建築基準法に適合しないものは指導しますが、民地であるため、すぐに撤去は難しいと思われます。

国や東京都からの補助金を確保できるよう働きかけて参ります。

ブロック塀の点検のチェックポイント

国土交通省

ブロック塀について、以下の項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。
まず外観で1~5をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、専門家に相談しましょう。

- 1. 塀は高すぎないか
・塀の高さは地盤から2.2m以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か
・塀の厚さは10cm以上か。(塀の高さが2m超2.2m以下の場合15cm以上)
- 3. 控え壁はあるか。(塀の高さが1.2m超の場合)
・塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか。
- 4. 基礎があるか
・コンクリートの基礎があるか。
- 5. 塀は健全か
・塀に傾き、ひび割れはないか。
- 6. 塀に鉄筋は入っているか
・塀の中に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも80cm間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれき掛けられているか。
・基礎の掘入れ深さは30cm以上か。(塀の高さが1.2m超の場合)

＜専門家に相談しましょう＞
□ 1. 塀の高さは地盤から2.2m以下か。
□ 2. 塀の厚さは十分か。
□ 3. 控え壁はあるか。1.2m超の場合、1.5m以上突出した控え壁があるか。
□ 4. 基礎があるか。
□ 5. 塀に傾き、ひび割れはないか。
□ 6. 基礎の掘入れ深さは30cm以上か。

出典：
パンフレット「地震からわが家を守ろう」日本建築防災協会 2013.1より一部改

《100万人訪問・調査運動》

◆「子育て」「介護」「中小企業」「防災・減災」の4つを

テーマに公明党の全議員がアンケートを行いました。多くのみなさまにご協力をいただき、様々なご意見、ご要望をお聞きする事ができました。

多摩川の氾濫や空家の問題、子育てに地域が関わってほしい、介護保険料が高いなど身近な悩みも伺いました。

8月には、アンサーチラシが出来上がります。市政に反映できること、都や国に繋げることなど精査して今後の政策立案に活かしてまいります。



《地域ボランティア活動》

◆毎週木曜日、四谷小学校の学童クラブの児童の帰宅同行のボランティアを。

毎週金曜日は住吉小学校の学童後の見守り活動を。

月に1度は四谷の下堰緑道の清掃作業に参加。

絶滅危惧種の野草などが生息しているため、環境保護活動にもつながっています。

わがまち支え合い協議会では、高齢者支援も行っており、南町と四谷でサロンも開催。

今後も、地域の実情に合わせた支援を考えていく予定です。



絶滅危惧種: ヤブカンゾウ

《ユニバーサルマナー検定》

◆5月12日、高齢者や障がい者、ベビーカー利用者、外国人など自分とは違う

誰かのことを思いやり、理解する。そして様々な人の目線で考え、行動するユニバーサルマナーの検定を受けました。

さりげない配慮の仕方や声のかけ方など生活の中ですぐにできることを学びましたが、ユニバーサルデザインなど社会も変えていかなくてはならないことをあらためて実感しました。



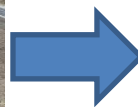
《地域実績》



住吉町3丁目……車止め設置



7/8の公明新聞に掲載



日新町
新田公園の除草

